

# Enterprise OS

なぜ企業のAI活用は失敗するのか  
—足りないのはAIじゃない。OSだ。

---

田中訓 / Dave Tanaka

February 2026

免責事項： 本資料は個人の見解であり、所属組織の公式見解を示すものではありません。

# 誰も語らない本当の問題

“社内アシスタントに、閲覧権限のある資料の要約を頼んだことがある。しかしポリシー上の理由で拒否された。その時気づいた。AIが「使えない」ように見えるとき、問題はAIそのものではなく、知識の管理と構造にあることが多い。”

AIは壊れていたわけではない。必要な構造が足りていなかっただけだ。

88%の企業がAIを導入  
(McKinsey 2025)

しかし全社レベルで展開できている企業はごく一部  
(McKinsey 2025)

従業員は今多くの時間を情報を探すことに使っている  
(MGI)

# 根本原因

AIの問題ではない。その下にある知識の扱い方とつながり方にある



多くの分断されたシステム・限られたバージョン管理・分散した検索・AIが横断して理解するのが難しい状態

# ポスト・イット®の物語がAI時代の組織作りについて教えてくれること

1968

スペンサー・シルバーが「失敗作」の接着剤を発明。くっつくがすぐ剥がれる。用途が見つからない。

12年後

アート・フライが教会の贊美歌集のしおりに使えることに気づく。シルバーの「失敗」を思い出す。

ポスト・イット®誕生  
生

15%カルチャーから誕生 — 従業員が業務時間の15%を自由な探求に使える文化。

すべてを変える問い :

もし社員が自然に探索の時間を持つて組織を最初から設計できたらどうだろう?  
— 制度ではなく、組織の仕組みとして

# Enterprise OS

Enterprise OSとは、人・システム・AIをつなぎ、変化を記録し続ける共通の知識の土台のこと。

Layer 1

## 基盤

Gitを全社の知識のバージョン管理ファイルシステムに。すべての変更を記録。すべてのバージョンを復元可能。すべての部門を接続。

Layer 2

## 知性

統一された構造化知識基盤からAIが読み取る。文脈。履歴。関連性。企業AIが文脈を理解できるようになる。

Layer 3

## 人の開花

AIが定型的な知識業務を処理すると、全社員に時間が生まれる。もっと仕事をするためではない。違う仕事をするために。創造や関係づくりなど、人にしかできない仕事。

# 実践的な基盤：Gitで構築する全社知識インフラ

ソフトウェア開発の世界では、この問題には長く向き合ってきた。いま、それを全社に広げる機会がある。

## Gitとは？

Wordの「変更履歴」を想像してほしい — ただし、すべてに適用される。

- すべての変更を記録: 誰が、いつ、なぜ
- 何も失われない — 完全なロールバック機能
- チームが衝突なく並行作業可能
- 変更は承認されてから反映される

## 提案

Gitを全社の知識管理に使う — コードだけでなく。

- コードの先へ → 全社の知識を管理
- AIがGitから読み取る → より賢い企業AIへ
- 既存の承認ワークフローが自然に統合
- 数十年の技術革新を検索・接続可能に

Fortune 100企業の90%以上が利用  
すでに1億5,000万人以上の開発者がGitベースの手法を使用  
製造・金融・医療など幅広い業界で活用されている

出典: GitHub (2025); Forrester TEI Report (July 2025)

# Enterprise OS が動く仕組み

GitHub Enterprise を中心に、データ・AI・業務の出力をつなぐ



## commit

変更はすべて履歴付きで記録

## branch

地域・部門ごとの分岐を安全に  
管理

## pull request

公開前にレビューと承認

## merge

承認された変更を全体に反映

## fork

パートナーごとのカスタマイズ  
が可能

# 実装に向けて：よくある3つの疑問に答える

おそらく浮かぶ3つの疑問 – 正直な回答

## Q1 既存システムとどう接続するのか？

既存システムはそのまま。Enterprise OSがつなぐ。

- ✓ GitHub Actions が REST API を通じて同期を実行。
- ✓ ERP、CRM、SharePoint など主要システムには成熟したAPI連携がある。
- ✓ 追加のミドルウェアは不要。既存レビュー環境もWebhookとPRチェックで連携できる。

Phase 1 PoC（單一ワークフロー） 3ヶ月

Phase 2 2-3システム接続 6ヶ月

Phase 3 全社展開 12-18ヶ月

## Q2 セキュリティは？

世界の重要なソフトウェアを守るのと同じ基盤で保護される。

- ✓ Enterprise Cloud（データ所在管理対応） ✓ ロールベースアクセス制御（RBAC）
- ✓ Advanced Security（GHAS）自動シークレット検出
- ✓ SOC2 Type II / ISO27001 / FedRAMP

## Q3 ユーザーにはどう見えるのか？

多くのユーザーはGitHubを意識しない。仕事が自然に良くなるだけ。

マーケ → これまで通りSharePointにアップロード / 承認者 → 既存レビュー環境を使用

エンジニア → GitHubを直接利用 / 経営層 → AIに質問するだけ

# 何もしない企業が払い続ける代償

## 今日かかっているコスト

**1.8 hrs/day**

従業員1人あたり 1日1.8時間を情報探しに費やしている  
*McKinsey*

**21% + 14%**

業務時間の 35%が情報検索と再作成に消えている  
*Bloomfire / HBR 2025*

**30%**

サイロにより部門横断の連携が 30%遅くなる  
*HBR / Bloomfire*

**\$31.5B/yr**

Fortune500企業は知識共有の失敗で 年間315億ドルを失っている  
*IDC*

## Enterprise OSがもたらすもの

**3.9 hrs/wk**

KM導入により従業員1人あたり 週3.9時間を取り戻す  
*Bloomfire 2025*

**20–25%**

強固な知識基盤により 生産性が20~25%向上  
*McKinsey Global Institute*

**376% ROI**

GitHub Enterprise Cloudは 3年間で376%の投資効果  
*Forrester TEI, July 2025*

**35% less**

情報検索に費やす時間が 35%削減  
*McKinsey*

Fortune 500企業の多くはすでにGitHub Enterpriseを導入している

これは新規投資ではない。既存投資の価値を引き出すだけだ。  
追加コストの多くはライセンスではなく、設定と接続である。

# 実践例: Before & After

## カスタマーサポート

### 現在

担当者が5つのシステムを手動検索  
→ 関連ケースの発見に47分  
→ 地域ごとに回答がバラバラ

### ENTERPRISE OS導入後

担当者がAIアシスタントに質問  
→ 関連ケース + 類似12件を数秒で発見  
→ 世界どこでも同じ品質の回答

## マーケティングキャンペーン

### 現在

毎回ゼロから開始  
→ 過去のキャンペーンが見つからない  
→ 地域ごとに数週間の作業

### ENTERPRISE OS導入後

AIが類似の過去キャンペーン12件を発見  
→ 数時間でドラフト生成  
→ 自動翻訳 + 現地適応

# 全社員が「作れる側」になる

GitHub + AIはエンジニアだけのものではない。誰もが「作れる」ようにする。

## Before: エンジニアが作り、他は依頼する

- ✗ マーケがページを必要 → チケットを切る → 3週間待つ
- ✗ 営業がレポートを必要 → ITに依頼 → 来期に届く
- ✗ 地域チームがコンテンツを必要 → メールチェーン → 翻訳誤で迷子に

## After: 全員が作り、AIが支援する

- ✓ マーケが要件を説明 → AIが生成 → PRレビュー → 公開
- ✓ 営業がAIに質問 → ソース付き回答を取得 → 即アクション
- ✓ 地域チームが既存コンテンツを再利用 → AI翻訳+適応 → 承認 → 完了

## 新しいスキルスタック

### 説明する

必要なものを  
自然な言葉でAIに伝える

全社員

### レビュー

AIの出力を確認し  
Pull Requestで承認・修正

全社員

### 繋げる

ナレッジグラフで  
部門横断の知識を結びつける

全社員

### 作る

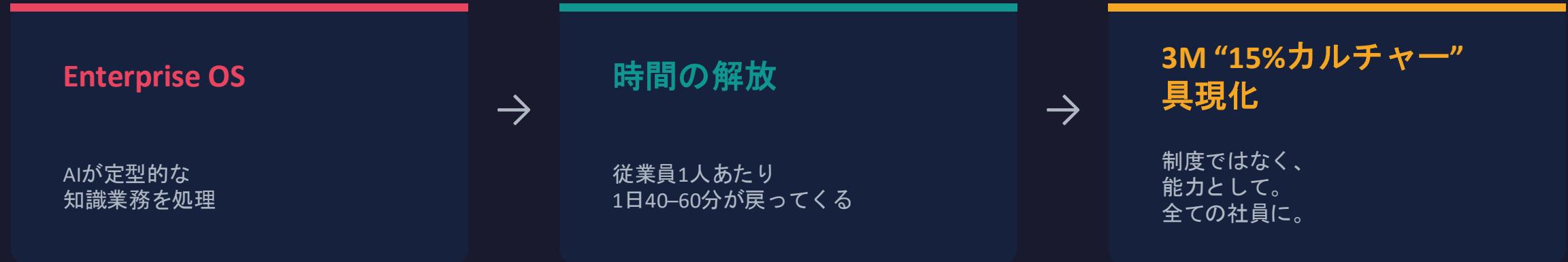
AIと一緒にワークフローや  
ツールを作る

業務を改善したい社員

“2026年に最も価値を生む人材は、コードを書ける人だけでなく、必要なものを言葉にできる人だ”

# 効率化は、ゴールではない。

OpenAIの2025年企業AIレポートでは、ユーザーは1日40~60分を節約している。しかし誰も問わない。その時間は、何に使われるのか？



## “人と人”的時間へ

同僚 顧客 パートナー 家族

AI時代に勝つ企業は  
最高のAIを持つ企業ではない。  
AIを使って、より人間的になる企業だ。

# 好循環

人が輝けば、会社も伸びる。Enterprise OSはその触媒。

## 社員の自己実現

### 目的と成長

15%の時間を情熱プロジェクト、学習、創造的な探求に

### メンタルヘルス

反復作業からのバーンアウトが減少。  
日々の仕事により多くの意味を

### 人間的なつながり

メンタリング、傾聴、  
大切な関係構築の時間

### ワークライフ統合

仕事が効率化すると、家庭での時間が生まれる



## 企業の成長

### 定着

エンゲージメントの高い社員は残る。  
知識が蓄積される。

### 人材獲得

「自分の成長に投資してくれる」が最強  
の採用メッセージに

### イノベーション速度

15%の時間 + Enterprise OS = アイデア  
が記録・共有・発展される

### 顧客ロイヤルティ

耳を傾ける時間のある社員は、顧客に  
「聞いてもらえた」と感じさせる

# 始め方

すべてを一度にやる必要はない。1つのワークフローから始める。

## 01 1つの課題を選ぶ

知識の分断が最も痛いワークフローを特定する。コンテンツのローカライズ、カスタマーサポート、法規対応など、毎日のように不満が出ている領域を選ぶ

## 02 GitHubでPoCを構築

そのワークフローの文書をGitHubリポジトリへ移す。バージョン管理を設定し、地域別ブランチを用意し、PRベースの承認フローを整える。実際に動くことを示す

## 03 AIレイヤーを追加

AIアシスタントをリポジトリに接続する。文脈・履歴・構造を持つことで、AIは「一般論」から「実務で使えるもの」に変わる

## 04 有機的に拡大

成果が導入を促す。1チームが効果を示せば、他チームも参加したくなる。ワークフローが増えるほど、プラットフォームは賢くなる

# なぜ今か？

## 01 AIギャップは拡大している

88%の企業がAIを導入しているが、効果を実感しているのは39%にとどまる（McKinsey、2025年11月）  
差はAIそのものではない。データ基盤だ。ここを先に整えた企業が、長期的に優位に立つ

## 02 知識が会社から流出している

米国ではベビーブーマー世代が1日1万人以上退職している。知識を記録せずに去る退職は、回復できない損失になる  
Enterprise OSは知識継承を日常業務に組み込む。別プロジェクトにはしない

## 03 テクノロジーは準備完了

Git、GitHub Enterprise、AI API。必要な技術はすべて揃っている。足りないのはテクノロジーではない  
すでにあるものを繋ぐ構想だ

# 著者について



田中訓 / **Dave Tanaka**

グローバル製造業にてデジタルマーケティングとAI活用を担当

## マーケティングとテクノロジーの交差点で30年以上

1991–97	<b>ASCII</b>	MacPower編集部 — 編集者 & 初代ウェブマスター
1997–00	<b>Adobe</b>	Built adobe.com/jp from 15K to 9M PVs (600 ×)
2000–03	<b>Apple</b>	apple.com Japan — iMac/iPod/iBook時代のローンチ
2003–11	<b>Adobe</b>	eCommerce Japan/APAC — 4%→16% of total sales
2011–Now	グローバル製造業で デジタルマーケティングとAI活用を推進	

## commit log

- グローバルIT企業およびグローバルBtoB製造業での30年のデジタルマーケティング経験
- AI駆動の企業ツールを構築（翻訳自動化、技術ナレッジ検索）— 理論ではなく実践
- AIおよびデジタルマーケティング活用のCountry Leader
- Adobe Proof、ON24などのグローバルツール導入を日本で支援  
No Code/AI支援開発で社内ツールを構築・展開
- GitHub: 13リポジトリを運用中
- バイリンガル（日英）— 米国テック論と日本の企業現実を橋渡し
- コンテンツクリエイター: youtube.com/@davetanaka

Views are my own

# 出典・参考文献

本プレゼンテーションのデータは、公開された第三者調査に基づいています

## AI導入とインパクト

- McKinsey & Company, The State of AI (2025年11月) — 導入率88%、企業レベルの利益影響39%
- OpenAI, Enterprise AI Report (2025) — 1人あたり1日40~60分の時間削減
- Deloitte, State of Generative AI in the Enterprise (2026年Q1) — 34%がAIで業務を再設計中

## ナレッジマネジメント

- McKinsey Global Institute — 1日1.8時間を情報探索に費やす。KM強化で生産性20~25%向上、探索時間35%削減
- Bloomfire / Harvard Business Review (2025) — 探索21%、再作成14%、週3.9時間削減
- IDC — ナレッジ共有不足によりFortune500で年間315億ドルの損失

## GitHub Enterprise

- Forrester Research, Total Economic Impact of GitHub Enterprise Cloud (2025年7月) — 3年ROI 376%
- GitHub (2025) — Fortune100の92%、企業7.7万社、1億8千万ユーザー、Gartner Leader 2年連続
- 導入企業例：Mercedes-Benz, GM, Accenture, AstraZeneca, Costco, Cathay Pacific, Generali, Carlsberg

## イノベーション文化

- 3M Post-it® 開発史 — 公開されたイノベーション事例
- 3M 「15%カルチャー」 — 公開されている企業イノベーション制度

このプレゼンテーションはGitHubで公開しています：

[github.com/davetanaka/enterprise-os](https://github.com/davetanaka/enterprise-os)

- 役に立ったら Star (★) お願いします
- フォークして自社向けにカスタマイズ
- Issue / Pull Request 歓迎です。

# Enterprise OS

足りないのはAIじゃない。OSだ。

バージョン管理された知識。AI駆動の知性。人の開花

---

田中訓 / Dave Tanaka

- YouTube <https://www.youtube.com/davetanaka>
- note.com <https://note.com/davetanaka>
- Linked in / X @davetanaka
- <https://github.com/davetanaka/enterprise-os>

© 2026 Dave Tanaka

本資料は Creative Commons 表示-非営利-継承 4.0 国際（CC BY-NC-SA 4.0）で公開しています